

中区栄・大須学区 震災避難行動マップ

…避難ルートの例

避難行動に関する心がけ

避難する時は、建物倒壊の危険性が高いところや狭い道路等に気をつけましょう。

また、地域防災協力事業所の支援を活用し、安全なルートで素早く避難出来るよう心がけましょう。

建物倒壊の危険性

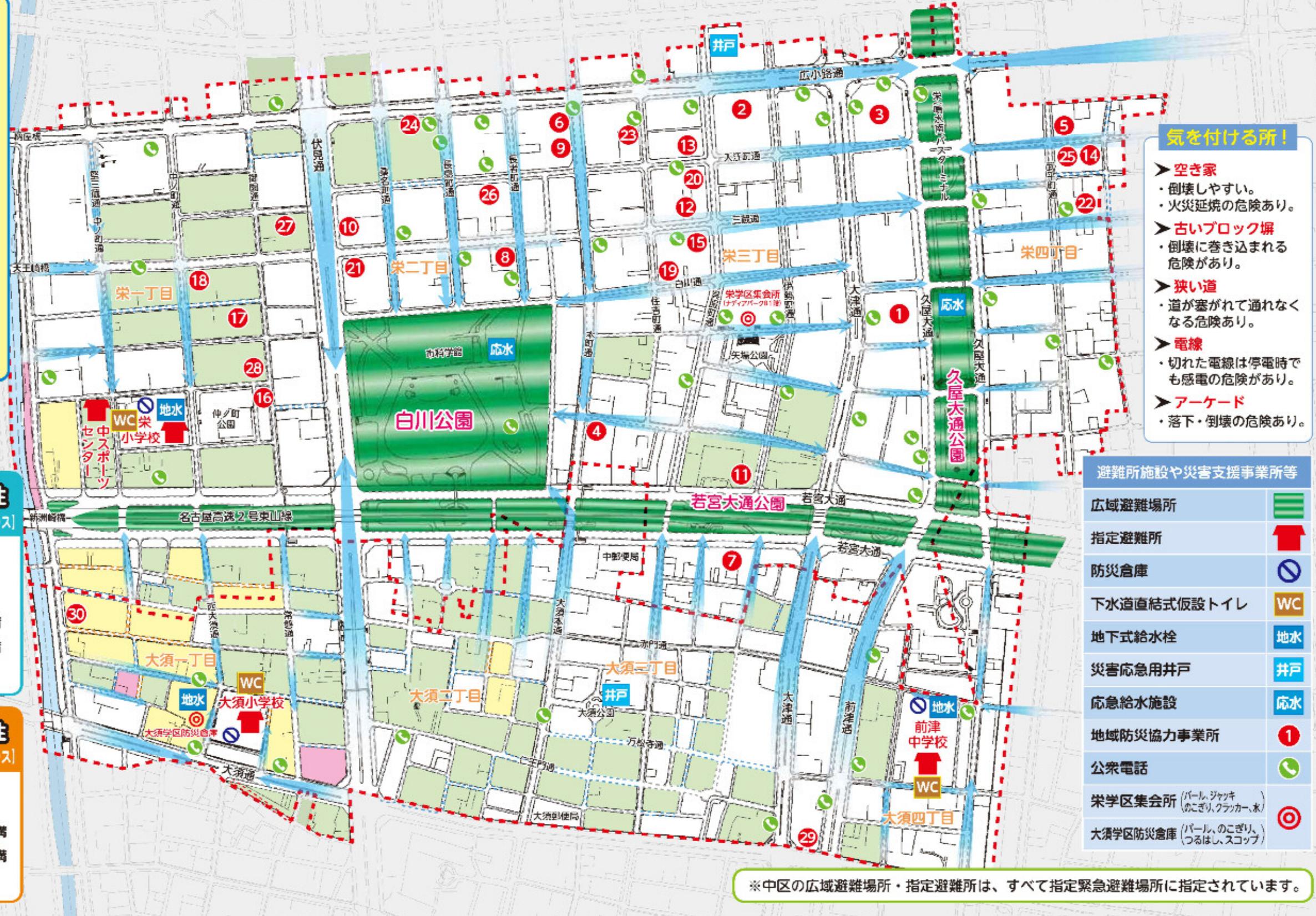
[あらゆる可能性を考慮した最大クラス]

建物全壊率
5%未満
5%以上～10%未満
10%以上～15%未満
15%以上～20%未満
20%以上

道路閉塞の危険性

[あらゆる可能性を考慮した最大クラス]

道路閉塞確率
20%未満
20%以上～40%未満
40%以上～70%未満
70%以上



*中区の広域避難場所・指定避難所は、すべて指定緊急避難場所に指定されています。

地域防災協力事業所

学区	番号	事業所名	所在地	協力内容
栄	1	松坂屋 名古屋店	中区栄三丁目16番1号	飲料水の提供
	2	丸榮	中区栄三丁目3番1号	生活用品の提供
	3	名古屋三越 栄店	中区栄三丁目5番1号	飲料水、日用雑貨等の提供
	4	中京綜合警備保障株式会社	中区栄三丁目35番1号	一時的な避難場所、シャワー室、毛布等の提供(24時間対応)
	5	株式会社熊谷組 名古屋支店	中区栄四丁目3番26号 昭和ビル8階	飲料水、食料品等の提供、人的支援
	6	株式会社電業社機械製作所 名古屋支店 株式会社守谷商会 名古屋支店	中区栄二丁目4番18号 中区栄三丁目1番1号 広小路第一生命ビルディング	飲料水、非常食等の提供・運搬
	7	愛知トヨタ自動車株式会社 中営業所	中区大須三丁目5番10号	一時的な避難場所、トイレ、バール、ブルーシートの提供
	8	株式会社トヨタレンタリース愛知 白川店	中区栄二丁目12番12号	一時的な避難場所の提供
	9	コスモ工機株式会社 名古屋支店	中区栄二丁目4番18号 岡谷鋼機ビルディング3階	飲料水、非常食等の提供・運搬、人的支援
	10	水道機工株式会社 名古屋支店	中区栄二丁目9番26号 ポーラ名古屋ビル5階	飲料水、非常食等の提供・運搬、人的支援
	11	株式会社ENEOSウイング 若宮大通SS	中区栄三丁目34番19号	一時的な避難場所、トイレ、ジャッキ、バールの提供
	12	株式会社サテライト名古屋	中区栄三丁目9番21号	災害備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	13	キング観光 サザン栄住吉店	中区栄三丁目2番17号	一時的な避難場所及びトイレの提供、人員の派遣
	14	ボートレースチケットショップ ミニボートピア栄	中区栄四丁目13番5号	一時的な避難場所の提供及び災害用備蓄品の提供
	15	インペリアル プラザ 株式会社らく楽	中区栄三丁目12番6号	災害備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	16	広小路建設株式会社	中区栄一丁目26番1号	資器材等の提供
	17	サンコービジネス株式会社	中区栄一丁目14番7号	工具、非常食、文具等の提供、社員によるボランティア活動
	18	株式会社トヨエイ管理	中区栄一丁目13番3号	災害用備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	19	株式会社水野鞆店	中区栄三丁目12番28号	災害用備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	20	伍味酉本店	中区栄三丁目9番13号	食料品及び飲料水の提供及び配布等の人員派遣
	21	日本コムシス株式会社 東海支店	中区栄二丁目10番1号	一時的な避難場所及びトイレの提供
	22	株式会社小島紙器商会	中区栄四丁目12番18号	災害用備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	23	有限会社大喜	中区栄三丁目1番14号	災害用備蓄品の保管及び配布等の人員派遣
	24	合名会社一富士	中区栄二丁目2番7号	災害用備蓄品の保管及び配布等の人員派遣

学区	番号	事業所名	所在地	協力内容
栄	25	丸丹スポーツ用品株式会社	中区栄四丁目13番3号	災害用備蓄品(飲料水等)の保管 災害用備蓄品配布等の人員支援
	26	辨吉ビル	中区栄二丁目7番5号	災害用備蓄品(飲料水等)の保管 災害用備蓄品配布等の人員支援
	27	株式会社居東屋	中区栄一丁目11番4号	災害用備蓄品(飲料水等)の保管 災害用備蓄品配布等の人員支援
	28	ミナミ栄ビル	中区栄一丁目22番16号	災害用備蓄品(飲料水等)の保管 災害用備蓄品配布等の人員支援 ロビー、会議室を一時的な避難場所として提供
大須	29	株式会社川本製作所	中区大須四丁目11番39号	緊急浄化装置の提供(消耗部品、定期点検は有償)、人的支援
	30	株式会社ENEOSウイング 洲崎橋SS	中区大須一丁目17番48号	一時的な避難場所、トイレ、ジャッキ、バールの提供

マップの見方（建物倒壊の危険性）

- 建物構造及び建築年と、被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)において地盤状況を考慮して計算された震度、液状化可能性により、建物が全壊する割合を街区ごとに評価したものです。
- 全壊率が大きい(赤い色)ほど、建物倒壊の危険性が高くなります。
- 液状化可能性は、液状化可能性指数(PL値)による液状化面積割合、構造別の支持杭の有無、液状化被害を受ける割合により算定しています。
- 建物全壊率は街区ごとの平均値であり、街区内の全ての建物が同じ危険性を有しているわけではありません。
- 色がない街区(建物全壊率5%未満)においても建物が倒壊する可能性もあります。
- 建物データは、平成23年度建物用途別現況調査に基づきます。
- 計算手法等の詳細につきましては、震災に強いまちづくり方針の解説(P96)をご覧ください。

・道路閉塞の危険性の図面の見方につきましては、名古屋市都市計画情報提供サービスをご確認ください。

・このマップは、平成27年1月に策定された「震災に強いまちづくり方針」により作成したものであり、建物全壊率や道路閉塞率を示した図の情報は名古屋市都市計画情報提供サービスで閲覧・印刷することができます。

名古屋市都市計画情報提供サービスとは…

名古屋市の都市計画情報等を地図や画像を利用し、インターネットを通じて市民の皆様に公開・提供するサイトです。

<http://www.tokei-gis.city.nagoya.jp/>

「平常時の心得」

地域の建物状況や建物倒壊・道路閉塞などの災害危険度の情報、また、地域防災協力事業所や指定避難所等の位置を確認し、家族会議や町内会で話し合う等日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

► 地域防災協力事業所や指定避難所等の場所を知る。

- 近くの地域防災協力事業所や指定避難所等を確認しておきましょう。

► 非常持出品・備蓄品を用意する。

- 水や食糧、携帯用トイレ等の備蓄品を1週間分、そのうち3日分は非常持出品として持ち運びが出来るようにしましょう。

► 家具を固定する。

- 家具に押しつぶされたり、避難の妨げとならないよう家具を固定しましょう。

► 安否確認方法を決めておく。

- NTTの災害用伝言ダイヤル「171」や、各携帯電話会社が提供する災害用伝言板サービスを確認しておきましょう。

► 建物を耐震化する。

- 昭和56年5月以前に着工した住宅には助成制度があります。